

## 函館フットボールパーク 第2回 キックベースボール大会 大会競技ルールについて

### ■大会のレギュレーションについて

- ・試合は**4イニング**を1試合とする。但し、**30分**を経過した時点で4イニング目まで進んでいない場合は、30分経過時点のイニング（表・裏）で終了とする。  
（30分を超えて次のイニングには入らない）
- ・30分経過した時点でのイニングが、**40分**経過しても終了しない場合はその時点で時間切れ終了とし、その前のイニング終了時点での点数で勝敗をつける。
- ・**3イニング目終了時点で、10点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。**

### ■大会ルールについて

- ・攻撃側のプレイヤーが、3人アウトになると攻撃・守備が交代する。
- ・女性選手がホームベースへ生還した場合、得点を**2点**とする
- ・守備は**最大7人**で行う。但し、男女混成チームについては4人まで女性を**0.5人（5人目以降は1人）**としてカウントし、**最大9名**まで守備位置につくこととできる。  
**女性みのチームは、最大11名まで**守備位置につくことができる。
- ・投手・捕手は置かない。
- ・守備位置は常識の範囲内で自由とするが、打者が蹴る前にバントラインより前で守備をしてはならない。
- ・ボールは**3号球**を使用する（主催者で用意します）。
- ・選手の交代は自由とするが、一旦試合から退いた選手はその試合には参加できない。
- ・先攻・後攻決めは試合前に両チーム代表者による、ジャンケンで決定する
- ・審判は参加チームによる持ち回りとする。（主審1名・塁審3名）

### ■打者のプレーについて

- ・打者はキック制限ラインとファールラインによって囲まれた**規程エリア内にボールを自身でセット**し、セットしたボールをキックしたら1塁へ走る。
- ・ボールを蹴る際の助走の距離は常識の範囲内で自由とする。
- ・バントライン（5m）を越えない打球はファール扱いとする。
- ・ファール・空振りはずべてストライク扱いとし、2ストライクからのファール・空振りは**アウト**とする。
- ・ファール・フェアの判定は野球等と同様の扱いとする
- ・キッカーは1度セットした球に2回以上触れることはできない。（前へ転がしてから蹴る等の行為は禁止）但し、風などでセットしたボールが動いた場合はセットし直すことができる。

- ・ホームランラインをノーバウンドで越えた場合はホームランとする。
- ・ホームランラインをゴロで越えれば2塁打とする。  
ただし、守備側の選手に触れて越えた場合は、フリーとする。

#### ■走者のプレーについて

- ・走者は、打者がボールをキックするまでは離塁できない。  
(リードをとった場合はアウトとする)
- ・盗塁・タッチアップはなしとする。
- ・走者は、投げられたボールおよび野手からの触球（タッチ）を避けようとして、ベースラインから2m以上離れた場合はアウトになる。

#### ■守備側のプレーについて

- ・守備側のホーム上ででのプレイは、他の守備側の選手にて行う。
- ・守備側は、フライの場合ノーバウンドで捕れば打者アウト。  
(守備側の選手が弾いた球を他の野手がノーバウンドで取った場合も同様とする)
- ・野球等と同様にファールゾーンでのノーバウンドでのキャッチはアウトとする
- ・ゴロの場合、守備側の選手が走者より先にボールを手にして塁に触ればアウト。
- ・守備側のボールの受け渡しは手や足・頭など、体のどの部分を使っても構わない。
- ・守備側の選手が走者にボールを当てた時点でボールはデッドとなり、他の走者は進塁できない。ただし、ボールが当たらなかった場合はフリーとなる。  
例：ボールデッドの時点で走者が2・3塁間にいた場合は、走者3塁でストップ。ボールデッドの時点で走者が3・本塁間にいた場合、走者は本塁まで進塁できて1点が入る。
- ・ホームランラインより外側にてノーバウンドでキャッチしてもホームランである。

#### ■コートサイズは以下の通りとする



